

Subgenus *Laeviacus* n. subg. ホソコゲチャタケ亜属

Type species: *Terebra chibana* Yokoyama
↳ OF NODITEREBRA

幼層に縦肋があり、後それが刻点列で区切られる頃に下部から弱まり、漸次退化する。縦肋の退化に伴い縫合下帯に顆粒を生じ、又周縁にも螺脈を生ずるが、かなり著明にもなる。

N. (L.) pustulosa (Smith, 1879) ホソコゲチャタケ(ヒメコゲチャタケ)

Syn. *Myurella granulosa* Smith, 1873 (non Lamarck, 1822)

N. (L.) sp.

モンナシシチク
 OYAMA 1961 Venus 21 p. 182

No. 21: TEREBRA SUBGENUS:
Laeviacus Oyama, 1961

ホソコゲチャタケ亜属には2種含まれるが、両種を別群にしたほうが良いようである。

N. (L.) granulosa (Smith, 1873) (syn. *Terebra pustulosa* Smith, 1879)

ホソコゲチャタケは宮崎県から塩釜まで分布し、海岸に打上げる。陸前高田市花貝産として報告された貝は本科の貝ではない。化石は千葉県御宿(完新統)・成田層群及び大日(掛川層群)から知られて居る。

N. (L.) sp. モンナシシチクは平瀬が房州から報告したが、細谷コレクションには相模産の標本があった。

OYAMA 1961 Venus Vol. 21 p. 448